# 景気動向

## 業況感ますます改善の動き　先行きもわずかに改善の見通し

**2005.7**

◆調査時点　平成17年7月調査（6月末時点）
◆対象企業　800社
◆回収企業　546社（回収率：68.3%）
（製造業147社、建設業112社、販売業（小売業）98社、サービス業189社）
◆調査期間　4月時報（3、4、5）以外毎月実施

※DI（Diffusion Index）値とは、景気の動きを「とかくさまざまな要因で、景気と関係ない企業の動きから、景気と関係ない企業の動きを測ったもの。

## 全産業

製造業の業況DIは▲13.7（前回比プラス7.2）のわずかに改善、非製造業の業況DIは▲32.5（前回比マイナス2.8）と悪化の傾向が強く、製造業と前回比較に対応マイナス幅が縮小した。

3月の見通しは、製造業は業況DIは▲2.5、非製造業の業況DIは▲26.1となり、原材料・原油価格の動向等不透明感は為るものの、わずかに改善を見通している。

■全産業の主要4業況DI値

| | 業況 | 売上 | 採算 | 資金繰り |
|---|---|---|---|---|
| 今回 | -24.0 | -22.0 | -33.2 | -13.9 |
| 前回 | -26.9 | -25.8 | -36.0 | -15.5 |
| 前回比 | 2.9 | 3.8 | 2.8 | 1.6 |

■全産業の業況

| 業況 | 今回 | 前回 |
|---|---|---|
| 良化 | 15.0 | 11.4 |
| 悪化 | 39.0 | 38.3 |
| D I値 | -24.0 | -26.9 |
| 前回比 | 2.9 | 6.7 |

■製造業の業況

| 業況 | 今回 | 前回 |
|---|---|---|
| 良化 | 22.3 | 14.3 |
| 悪化 | 36.0 | 35.1 |
| D I値 | -13.7 | -20.9 |
| 前回比 | 7.2 | 6.4 |

■非製造業の業況

| 業況 | 今回 | 前回 |
|---|---|---|
| 良化 | 9.7 | 8.5 |
| 悪化 | 41.5 | 41.1 |
| D I値 | -32.5 | -32.2 |
| 前回比 | -0.3 | 6.8 |

■全産業の業況　3か月先見通し

| 業況 |
|---|
| 12.0 |
| 28.0 |
| -15.4 |

■産業分類別業況ＤＩ推移




## 製造業

| 業況ＤＩ値 | |
|---|---|
| 前年比 | -13.7 |
| 先行き | -2.5 |
| 前回比 | 7.2 |
| 対象企業 | 353社 |
| 回収企業 | 247社 |

業況・資金繰りはわずかに改善、売上・採算は横ばいを保った。業種別にみると「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」の業況はプラス圏を維持、「一般機械」「電気機器」「精密機器」の業況はプラス幅に転じた。前回比では「プラスチック」の業況はわずかに改善、「ニット」の業況は悪化を示した。

3か月先見通しは、業況・売上・採算・資金繰りともわずかに改善を見通している。業種別にみると「一般機械」「電気機器」「輸送用機器」「精密機器」の業況はプラス幅を維持、「プラスチック」の業況はプラス反に、「鉄鋼・非鉄」の業況はマイナス幅を拡大と見通している。

**自由意見より**

- 原油の高騰で減産になる。 【食料品】
- 中国との関係が深くなります。 【食料品】
- 気候によって動くファッションの時代となり、今年前半は
  低迷いなかった。これからの秋物に期待しているが昨年と
  変わって四季の変化に富んだ重宝な気候を期待している。 【繊維】
- 消費税率の見直しで個人納税で大変苦しいです。 【木材・木製品】
- 中国等アジア諸国からの輸入増で需要と供給のバランスが崩れ、国内における値下がりが激しい。自社商品の開発にリスクのない部分集合かと。 【木材・木製品】
- 今後の社会保険等諸生費の上昇は収益面でマイナス要因となると思われます。 【木材・木製品】
- 製造業に必要な部品(鉄材)の値上がりが大変です。
  販売単価に転嫁できない状況です。 【家具・土石】
- 油の(重油)の価格上昇によって、大変苦しております。 【鉄鋼・非鉄】
- 市況は軟化、下落気味。需要が伸びない。 【金属】
- 原材料(鉄材、石油製品)の上昇分を価格転嫁値解を
  打却して引所活きる。二枚の上昇は容易に吸収出来ない。 【金属】
- ノーシアン・ノンクロム・ISOと世界的潮流の変化
  は国内の部下を苦況するかのように本当に厳しい。
  寄せ、設備老金額内負担に頼まれたり。生産の量
  だるみの時期に入りより月末は厳注重。 【金属】
- 材料費の高騰(20%～40%UP)のため利益が減少。
  売上105%、原価120%差引率は昨年比利はマイナス20%。 【一般機械】
- 前年に比較減です。得意先の動向は日々の変化です
  あり、全体の見通しは然として不明ではある。 【一般機械】
- 自社は年内見通しが立っている。しかし、他区業界
  においては厳は仕事ロスで大変ってきていると伺
  が聞かれる。 【電気機器】
- 先の見込みがない。 【電気機器】
- 生産の海外移管止まらず。 【電気機器】
- 受注環境が急速に変化しており、競争激化により、
  受注単価が低下している。 【輸送用機器】
- 先行きが不透明な状況です。 【輸送用機器】
- 原材料が大変厳しい。重油高騰が止まらないので最合
  値が支配している。単価の価格がどうして上げ
  られない為これも最金値が支配していると！！ 【プラスチック】
- 同様に悪化状況で変わりありません。 【プラスチック】

## 建設業

| 業況ＤＩ値 | |
|---|---|
| 前年比 | -41.2 |
| 先行き | -35.3 |
| 前回比 | 6.8 |
| 対象企業 | 73社 |
| 回収企業 | 51社 |

業況・売上・採算・資金繰りともわずかに改善を示した。

3か月先見通しは、業況・売上はわずかに改善、採算・資金繰りは横ばいを見通している。業種別にみると「土木」の業況は横ばい、「建築」の業況はわずかに改善を見通している。

**自由意見より**

- 量が集ボ全ロリ、工事費増減の為、単価が下がり
  重をかない。 【土木】
- 公共関工事の減少は企業にとって致命的なもの。
  前途好転の兆候見られず予測出来ぬ現状。 【土木】

## 販売業

| 業況ＤＩ値 | |
|---|---|
| 前年比 | -32.4 |
| 先行き | -21.6 |
| 前回比 | -5.8 |
| 対象企業 | 110社 |
| 回収企業 | 74社 |

売上・採算はわずかに改善、業況・資金繰りはわずかに悪化を示した。業種別にみると「機械器具」の業況はマイナスに転じた。前回比では「家具等」の業況はプラスに改善。「建築材料」の採算は悪化を示した。

3か月先見通しは、業況・売上・採算はわずかに改善、資金繰りは横ばいを見通している。業種別にみると「機械器具」の採算は悪化を見通している。

**自由意見より**

- 3ヶ月先の予想は未曾有過ぎるかもしれません。売
  上額は一進一退の繰り返しです。 【衣服】
- 販売単価がドドが売上伸び。 【衣服】
- 仕入単価共に販売単価が低下しているのでどうにも
  なりません。 【衣服】
- 大企業の好決算の新聞記事を見ますが、中小企業は
  いつ潰くなるかか、もちろん業種によるけりつつは
  あるが。 【衣服】
- ～次期量が二次前の客様に直接販売を始め、競争
  が激化して利益がドドが。できています。 【衣食料】
- IT産業とお取引による売上増だが、一段階高は低迷
  状態でもし悪化の方向。 【機械器具】
- 原油価格の上昇に起因して、仕入単価も上昇。その
  分を商品、売価に上乗せできないことも多大る。 【建築材料】

## 小売業

| 業況ＤＩ値 | |
|---|---|
| 前年比 | -31.9 |
| 先行き | -28.9 |
| 前回比 | -4.6 |
| 対象企業 | 159社 |
| 回収企業 | 97社 |

業況・売上・採算・資金繰りともに横ばいを示した。前回比では「自動車販売」の業況・採算「大規模店」の採算は悪化を示した。

3か月先見通しは、採算はわずかに改善、業況・売上は横ばい、資金繰りはわずかに悪化を見通している。業種別にみると「家具等」の採算は悪化を見通している。

**自由意見より**

- 1月～5月までの売上は昨年より下回っていたが、6
  月に入り競事力面で重要が上がってきたので売上も
  多少例年なみとなりそうで、競事力の底が戻ってき
  たようです。 【中小スーパー】
- 景気が悪いのに原油高が災々と出回っている。手の
  うちようがない。大型店出店規制が必要である。 【衣料】
- 地域的に山間部なので、仕入問題の色が現られても
  まう。今後は営業の問題を探求してみようと思っ
  ている。 【飲食料】
- 商品の変化がさきく商事は変わらないが、農家と消
  費者のつなぎが少量ゆえ安くなり今まで仕議ン で回
  復はない。 【飲食料】
- オープン感はてビール、発泡酒等関連よりの値上
  げになったが天天スーパーは値上げはない。商業は
  ともどもメロになると思われます。 【飲食料】
- 大口業務店への販売数量で売上げは減少。相利の高
  い日本酒・焼酎ベシフトしてありますが、まだ時間
  がかかる。 【飲食料】
- 食が落ちさわらけれ低運の店へは限ってきます
  ん。 【家電品】
- 季節商品の動きが悪い。修理依頼はほとんど無くな
  った。 【家電品】
- 当店は家電販売を10年前にやめて従業員を外に出し
  て、10年前から設備中心に投資をしました。
  ら、資金繰りも楽に出ないですまようになりま
  した。有日にくく無事です。 【家電品】
- 不況・不景気による影響は大であります。それに加
  え、有・消費税の負担額が販売量減の減少が
  ついて、又、この様に不況にもかかわらず、値上
  げ見込げでは是ゃ不況。 【自動車販売】
- ガソリンスタンド業界は仕入単価の高騰に加え、
  相談会の度で先売ったり値相乱れ「値いい状況に
  つき採算厳しい点変わらず。 【その他】

## サービス業

| 業況ＤＩ値 | |
|---|---|
| 前年比 | -27.3 |
| 先行き | -20.8 |
| 前回比 | 4.0 |
| 対象企業 | 107社 |
| 回収企業 | 77社 |

業況・売上・採算は横ばい、資金繰りはわずかに悪化を示した。業種別にみると「情報サービス」の業況はプラスに転じた。前回比では「自動車整備」の業況・「建築」の採算はわずかに悪化を示した。

3か月先見通しは、業況・売上・採算・資金繰りともわずかに改善を見通している。業種別にみると「情報サービス」の業況はマイナスに転じると見通している。

**自由意見より**

- 売丈ている以上に悪化(売上約20%)。は後の業績が
  どうなるか不安です。 【旅館・ホテル】
- 景気など全く良くなってない。 【旅館・ホテル】
- 7月は降雨い状況です。 【旅館・ホテル】
- 市場の動きは良い中で収入は前年並みを確保しま
  したが、LPGの価格が前年より上回っている状況に
  あります。他社はさまざまです。 【タクシー】
- 大型車両も多り、前年実績ガと回っています。市場
  は良好型況のようですが、物流量入り量が前年
  雪中従業員のガンバリで採算を良化しつつあります
  。 【タクシー】
- 原油価格の高騰が今は続くで、軽油仕入単価も値
  付値上がりしていないので、転嫁できないでいる。こ
  の軽油の値上がりは、経営を悪化させている。 【運送】
- 燃料の値上がりはいつまで続くのか不安である。経
  営に大きく響いている。 【運送】
- 燃料代の高騰激しく苦しいが、売上単価に上乗せで
  きず今後厳しい。 【運送】
- 原油価格の上昇に打撃を受けています。 【運送】

ウィンドウを閉じる